

## 2018/2019 年度第 1 回常任委員会

日時：2018 年 10 月 6 日（土） 14：15－17：50

場所：ルノアール新宿三丁目店

出席：呑海、赤澤、牛島、鈴木、上村

今年度（2018/19 年度）の常任委員会の進め方について検討を行った。

→ 開催日：毎月第 3 土曜日開催を原則とする。今年度の重点課題として、50 周年記念事業、出版部移行問題（物理的管理、発行形態の検討・提案を作成）がある。話題提供は引き続き実施することとなった。次回は牛島委員。

### 1. 報告事項

#### 1. 1. 小委員会・事務局

##### （1）全国大会小委員会

・口頭により大会の概要が報告された。

##### （2）編集小委員会

・資料のとおり報告された。

・会報 10 月号の次期開催地からの記事については再検討の必要があることが指摘され、委員長、事務局長、編集小委員長により調整を行うこととした。

##### （3）事務局（出版、会計、組織）

・資料のとおり報告された。

##### （4）会費徴収

・資料のとおり報告された。

### 2. 審議事項

#### 2. 1. 今年度の担当業務（役割分担）について

・検討の結果、下記のような分担案を作成した。本日出席していない常任委員（通信含む）、運営サポート会員の確認を経て決定することとする。

●全国委員長 呑海沙織

●事務局長 上村順一

●小委員会（◎ 小委員長 ○副委員長 \* 通信常任委員）

小委員会名	担当常任委員	運営サポート会員
全国大会	◎赤澤久弥	

研究企画	◎西脇亜由子 上村順一			
編集	◎鈴木正紀	会 報	磯本善男* 北川正路 西脇亜由子	北海道地域グループ※ 東京地域グループ 京都地域グループ 大坂地域グループ 兵庫地域グループ 広島地域グループ 東海地域グループ 九州地域グループ
		会 誌	和知 剛	加藤信哉
広報	◎上村順一 牛島千穂・江沢美穂・ 柘植久美子*・山上朋宏*・ 渡邊伸彦*			得能由貴 (北海道地域グループ)
記念出版物 編集	◎鈴木正紀 北川正路			亀田俊一(東京地域グループ) 加藤晃一(千葉地域グループ) 野村 健(東京地域グループ)
海外図書館 研修ツアー 検討	◎牛島千穂 呑海沙織			
大学図書館 問題研究会 の名称に係 る検討	◎和知 剛			

※編集小委員会、黄色マークのグループについては継続を、緑マークの地域グループについては新規に、それぞれ就任を依頼する

●事務局 (◇主担当 \*通信常任委員)

出版	◇上村順一	荒谷宏美・市村省二・上森ゆかり・瀧 桂子・仲尾正司・
----	-------	----------------------------

		森永瑞穂（以上、東京地域グループ）
会計	◇上村順一 野寄 恵*	
会費徴収	◇赤澤久弥 野間口真裕* 長坂和茂*	
組織	◇上村順一 青山史絵*	
ML 管理	◇磯本善男*	

●ワーキンググループ ☆グループ長

ワーキンググループ名	担当常任委員
全国大会	☆上村順一 赤澤久弥
出版物・管理	☆呑海沙織 上村順一・鈴木正紀

編集小委員会内の担当

（会報）

磯本善男（6月号）

鈴木正紀（1・12月号）

西脇亜由子（DOC 特集号）

北川正路（通常号2回）

北海道地域グループ（通常号1回）

東京地域グループ（通常号1回）

京都地域グループ（通常号1回）

大坂地域グループ（通常号1回）

兵庫地域グループ（通常号1回）

広島地域グループ

東海地域グループ

九州地域グループ

（会誌）

和知 剛

加藤信哉

・会誌については、発行頻度を年1回とし（8月、2019年8月より）する。また、査読体制の整備等を進めていくこととする。

## 2. 全国大会

(ア)2019年（第50回）：兵庫で開催

(イ)「実行委員会形式」を今後どうしていくか

- ① 常任委員会が主導するかたちから、実行委員長を常任委員が務めなくともできるかたちに持っていきたい
- ② 実行委員長を公募制にする  
条件：大会実行委員長の経験がある or 2回以上実行委員を務めた人
- ③ 副実行委員長は常任委員+現地の地域グループの会員（2～3名）とする。
- ④ 実行委員：  
(ア)大会実行委員長と同副実行委員長での合議により案を作成する。  
(イ)合議の結果を常任委員会に報告する。  
(ウ)実行委員会の規模：人数の上限は決めない。

(ウ) [taikai@daitoken.com](mailto:taikai@daitoken.com) を使いまわしにせず、年度ごとに別のものをたちあげたほうが、区分が明確になってよい。→ その方向で運用する。

## 2. 次回全国委員会

12/2, 16, 22, 23 のいずれかで調整する

## 3. 入退会手続きについて

(ア)現在は、フォームを使って認否を行っているが、今後は疑義のある場合のみそれを表明という運用にしたい。実際の運用は1週間の審議、それで承認。

(イ)退会時には、所属地域グループでの確認を行う。

(ウ)所属地域・研究グループの変更：

- ① いつでも自由とするか（その場合、会費徴収との兼ね合いが発生する）
  1. グループの増減承認期間との兼ね合いがある  
→ 次回常任委員会で上村事務局長より原案を提案する

## 4. 「会員情報のグループ関係者への安全な引き渡し方法」について

提案資料を一部修正し、本日の欠席者に意見を募ったうえで結論を出す。

## 5. 出版物管理 WG

- ・以下の内容を骨子として検討を行っていく
- ・会報、会誌は継続
- ・会報：会員に対してはデジタル化、販売は印刷物
- ・会誌：会報とバンドルし、会員にはデジタル 購入には紙で発行する
- ・在庫は持たない（販売する場合はデジタル版を発送する）

6. 会報掲載記事のエブスコ社データベースへの登録について

- ・エブスコ社が提供している Academic Search Ultimate に会報『大学の図書館』が採録候補となった。
- ・提案について、受け入れる方向で今後調整を行っていく。
- ・審議事項として全国委員会にかけると考えている。
- ・回答は、両者調整の結果 10 月末となっている。

次回は、11 月 17 日開催予定